

平成28年度
公益社団法人日本地すべり学会
関東支部
総会資料



The Japan Landslide Society
Kanto Branch

平成28年5月12日
東京大学武田先端知ホール

お知らせ

本部行事

- 第55回研究発表会及び現地見学会（高知県高知市：高知県立県民文化ホール、8/22-8/25）

参加申込：5/9-7/22

発表申込：5/9-6/1

- シンポジウム（東京都：一橋大学一橋講堂、6/17）

テーマ：地すべり研究・対策技術を国際協力に活かすために

支部行事

第1回現地検討会（富士山の雪崩） 平成28年3月10日（終了）

夏から秋にかけて、第2回現地検討会、斜面協会との共催事業を予定しております。

平成28年度

公益社団法人日本地すべり学会関東支部

総会次第

日時：平成28年5月12日（木）11:00-12:00

場所：東京大学工学部・武田先端知ホール（東京都）

1. 開会
2. 挨拶 関東支部長 落合博貴
3. 来賓紹介
一般社団法人斜面防災対策技術協会関東支部長 上野雄一 殿
前関東支部長 鵜飼恵三 殿
群馬県 森林保全課長 鈴木秀雄 殿
4. 議事
 - 4-1. 議長選任
 - 4-2. 議案
第1号議案 支部役員の選任に関する件
第2号議案 平成27年度事業報告及び決算の承認に関する件
第3号議案 関東支部運営内規の一部改正に関する件
 - 4-3. 報告
平成28年度事業計画・予算に関する報告
 - 4-4. その他
5. 感謝状贈呈
鵜飼恵三 殿、浦元啓 殿
6. 閉会

[参考]関東支部会員数

基準日	議決権を持つ支部会員数		総会の 定足数
	基準日にお ける支部会 員	基準日以降に支部に所属した 正会員（個人）：総会出席者	
平成28年3月15日	①401名	②	(①+②) /5

* 関東支部管内：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県

第1号議案 支部役員を選任に関する件

1. 支部役員を選任

第2期(平成26-27年度)の支部役員任期が満了するにともない、関東支部運営内規第4条にもとづいて、次の支部役員を選任する。

第3期(平成28-29年度) 支部長、副支部長、監事

2. 支部役員候補者

運営委員会による推薦者は、次のとおりある。

表1 支部役員候補者

役職	氏名	所属	備考
支部長	櫻井 正明	株式会社 山地防災研究所	新任
副支部長	若井 明彦	国立大学法人 群馬大学大学院	再任
監事	向井 啓司	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター	再任
監事	鈴木 秀雄	群馬県 環境森林部 森林保全課	再任

3. その他の支部役員

第3期の運営委員、幹事は、支部長が委嘱することから(関東支部運営内規第4条)、5月末頃までに決定される見込みである(関東支部 Web で公開予定)。

第2号議案 事業報告及び決算の承認に関する件

1. 平成27年度事業報告

平成27年度事業報告は次のとおりである。

(1)総会

平成27年5月8日（金）12:30～13:10

東京大学武田先端知ビル 武田先端知ホール（東京都）

出席者数 43名 委任状数 84名 計 127名（定足数 86名以上）

(2)シンポジウム

平成27年5月8日（金）14:00～17:00

東京大学武田先端知ビル 武田先端知ホール（東京都）

参加者：90名

- ・テーマ：富士山の斜面災害
- ・講演1：富士山の土砂災害－富士山大沢崩れの3大謎を解く－
中筋章人（国際航業株式会社）
- ・講演2：富士山のスラッシュ雪崩
上石勲（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）
- ・概要集発行

(3)意見交換会

平成27年5月8日（金）17:30～19:30

東京大学山上会館1階（東京都）

参加者：39名

(4)現地検討会

①第1回現地検討会－平成25年台風26号により発生した伊豆大島大金沢の崩壊－

平成27年4月25日（土）7:00～14:15

東京都大島町大金沢

協力：東京都大島支庁・大島町

講師：後藤聡（山梨大学）、安孫子昌弘・金澤大介（東京都大島支庁）

参加人数：17名（正会員10名、学生会員5名、非会員2名）

②第2回現地検討会－平成19年台風4号により活動が活発化した山梨県楠田地すべり－

平成27年10月16日（金）10:20～16:00

山梨県南巨摩郡身延町三澤楠田（くすんた）地区

協力：山梨県森林環境部治山林道課， 峡南林務環境事務所， 国土防災技術(株)山梨支店
講師：芦沢孝之（山梨県峡南林務環境事務所）， 児玉卓也（国土防災技術(株)山梨支店）
参加人数：20 名（正会員 13 名， 非会員 7 名）

(5)斜面協会との共催事業

国道 254 号内山峠災害現場合同見学会

平成 27 年 11 月 5 日（木）

群馬県甘楽郡下仁田町南野牧

主催：（公社）日本地すべり学会 関東支部，（一社）斜面防災対策技術協会 関東支部

後援：（公財）群馬県建設技術センター，（NPO）群馬県地すべり防止工事士会

- ・ 国道 254 号内山峠（旧道）地すべり災害地
- ・ 下仁田ジオパークの展示施設（下仁田町自然史館）

参加者：50 名

(6)運営委員会・幹事会

①運営委員会

- ・ 第 1 回（第 1 回幹事会合同） 平成 27 年 4 月 13 日 日本工営会議室（東京都）出席者 19 名
- ・ 第 2 回（第 4 回幹事会合同） 平成 27 年 12 月 4 日 ダイヤコンサルタント会議室（東京都）

出席者 12 名

②幹事会

- ・ 第 2 回 平成 27 年 6 月 1 日 日本工営会議室 出席者 13 名
- ・ 第 3 回 平成 27 年 9 月 1 日 日本工営会議室 出席者 12 名
- ・ 第 5 回 平成 28 年 3 月 25 日 日本工営会議室 出席者 10 名

(7)災害調査

災害発生：平成 27 年 9 月 9～10 日、栃木県内（鬼怒川上流域～鹿沼地方）

①公益社団法人日本地すべり学会平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害調査団

団員：落合博貴、若井明彦、蔡飛、櫻井正明、林一成（関東支部会員で構成）

事務局：関東支部

- ・ 第 1 回現地調査 平成 27 年 11 月 28 日 栃木県日光市三依
- ・ 第 2 回現地調査 平成 27 年 12 月 20 日 栃木県日光市岩崎（白石川）

②2015 年関東・東北豪雨災害土木学会・地盤工学会合同調査団

本部の要請により団員 2 名（若井明彦・櫻井正明）を派遣

- ・ 速報会報告 平成 27 年 12 月 15 日 13:30～16:40 主婦会館カトレア
- ・ 報告書作成 平成 28 年 3 月

(8)広報活動等

- ・ 関東支部 Web ページ更新
- ・ 平成 28 年度国際地学オリンピック（三重大会）に協賛

2. 平成 27 年度決算報告

平成 27 年度決算案は次のとおりである。

災害調査、協賛金(地学オリンピック)などの臨時の費用が生じたために赤字となった。

表 2 平成 27 年度決算(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

収益	当期収益	事業収益	シンポジウム	180,000	事業収支再掲			
			意見交換会	190,000	区分	収益	費用	収支差
			現地検討会	81,500	シンポジウム	180,000	98,940	81,060
		受取利息		0	意見交換会	190,000	183,420	6,580
		預り金		0	現地検討会(2回)	81,500	182,481	▲ 100,981
		小計		451,500	共催事業	0	78,813	▲ 78,813
		資金移動(本部→支部)		278,091	災害調査	0	21,141	▲ 21,141
		計		729,591	協賛金	0	50,000	▲ 50,000
費用	当期費用	事業費	シンポジウム	98,940				
			意見交換会	183,420				
			現地検討会	182,481				
			共催事業	78,813				
			災害調査	21,141				
			協賛金	50,000				
			管理費	194,434				
	小計		809,229					
	計		809,229					
当期収支差				▲ 79,638				



3. 監査報告

平成 27 年度の支部事業及び会計について、支部監事により監査を行った。

監査報告書（関東支部）

平成 28 年 4 月 8 日

公益社団法人 日本地すべり学会
会 長 土屋 智 殿

監事 何井啓司 
監事 鈴木香雄 

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて決算書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、会議等への出席、又は支部長から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の経理の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 支部の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

別表1 平成27年度決算書(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

				予算	決算	決算-予算	備考
【収益】							
勘定科目							
大科目	中科目	小科目	細目				
支部収益				460,000	451,500	▲ 8,500	
	事業収益						
		シンポジウム収益		290,000	370,000	80,000	
			参加費	140,000	180,000	40,000	¥2,000-×90名
			意見交換会費	150,000	190,000	40,000	¥5,000-×38名
		現地検討会収益		170,000	81,500	▲ 88,500	
			参加費	170,000	81,500	▲ 88,500	第1回:参加者21名(内5名学生) 第2回:参加者25名(内3名学生)
			意見交換会費				
	受取利息 預り金					0	
本部仮払金				300,000	278,091	▲ 21,909	
当期収益合計(A1)				760,000	729,591	▲ 30,409	
内)未収入金(A2)							
【費用】							
勘定科目							
大科目	中科目	小科目	細目				
支部費用							
	事業費			640,000	614,795	▲ 25,205	
		シンポジウム会費		290,000	282,360	▲ 7,640	
			印刷製本費	90,000	74,196	▲ 15,804	冊子印刷ドットコム(150部)
			会場費	9,000	9,000	0	東京大学山上会館
			会議費	141,000	174,420	33,420	意見交換会飲食費
			諸謝金	20,000		▲ 20,000	
			旅費交通費	30,000	23,880	▲ 6,120	講師旅費
			通信運搬費			0	
			支払手数料		864	864	口座振替手数料
			消耗品			0	
			備品			0	
			雑費			0	
		現地検討会費		350,000	261,294	▲ 88,706	斜面協会との共催事業費(現地見学会負担金) 78,813円を含む
			印刷製本費	40,000		▲ 40,000	
			会場費	100,000		▲ 100,000	
			会議費		44,690	44,690	昼食代等
			諸謝金			0	
			旅費交通費	200,000	147,342	▲ 52,658	バス代他
			旅費交通費-借料		17,550	17,550	レンタカー
			通信運搬費	10,000	21,532	11,532	宅急便代等
			支払手数料		1,872	1,872	口座振替手数料
			消耗品			0	
			備品			0	
			保険料		28,308	28,308	
			雑費			0	
		災害調査費		0	21,141	21,141	東北関東豪雨災害
			旅費交通費		347	347	ガソリン代
			旅費交通費-借料		15,282	15,282	レンタカー×2回
			通信運搬費		4,012	4,012	宅急便代
			保険料		1,500	1,500	
		諸会費		120,000	50,000	50,000	国際地学オリンピック協賛金
	管理費	給与・手当			194,434	74,434	
			パート給与			0	
			アルバイト給与			0	
		会場費			77,000	77,000	東京大学武田先端知ホール
		会議費				0	
			支部総会費	70,000		▲ 70,000	
			幹事会・運営委員会費			0	
			技術委員会費			0	
		印刷製本費		35,000		▲ 35,000	
		旅費交通費				0	
		通信運搬費		13,000	46,546	33,546	切手代等
		消耗品	事務用品費		22,120	22,120	封筒代
		事務費	OA費、HP維持管理費		44,820	44,820	HP管理費
		備品				0	
		外注費				0	
		支払手数料		2,000	2,448	448	口座振替手数料
		公租公課	印紙代			0	
		雑費			1,500	1,500	残高証明手数料、電波使用量
当期費用合計(B1)				760,000	809,229	49,229	
内)未払い金(B2)				0	0	0	
当期収支差額(C=A1-B1)				0	▲ 79,638	▲ 79,638	
前期繰越額(D)				1,650,769	1,650,769	0	
内)前期末払い金(E)				0	0	0	
次期繰越収支差額(D+C+B2-E)				1,650,769	1,571,131	▲ 79,638	

【参考】平成 26 年度決算

収益	当期収益	事業収益	シンポジウム収益	349,000
			現地検討会収益	55,000
		受取利息		0
		試験研究活動費(大会→支部)		500,000
		小計		904,000
	資金移動(本部→支部)			297,356
	計			1,201,356
費用	当期費用	事業費	シンポジウム費	317,928
			現地検討会費	228,692
		管理費		132,827
		小計		679,447
		計		679,447
当期収支差				521,909

区分	収益	費用	収支差
シンポジウム	349,000	317,928	31,072
現地検討会	55,000	118,448	▲ 63,448

現地検討会の費用は備品を除く

【参考】平成 25 年度決算

収益	当期収益	事業収益	シンポジウム収益	247,000
			現地検討会収益	154,500
		受取利息		146
		預り金		1,021
		小計		402,667
	資金移動(本部→支部)			200,000
	計			602,667
費用	当期費用	事業費	シンポジウム費	247,500
			現地検討会費	248,108
		管理費		104,415
		小計		600,023
		計		600,023
当期収支差				2,644

区分	収益	費用	収支差
シンポジウム	247,000	247,500	▲ 500
現地検討会	154,500	248,108	▲ 93,608

第3号議案 関東支部運営内規の一部変更に関する件

関東支部運営内規を下記のとおり変更する。

表3 関東支部運営内規の新旧対照表

旧	新	事由
<p>第2章 支部役員 略 (選任) 第4条 支部長、副支部長、支部監事は、運営委員会が支部に所属する正会員のうちから推薦し、支部総会において選任する。 2. 運営委員、幹事長、副幹事長、幹事は、支部に所属する正会員のうちから支部長が委嘱する。</p>	<p>第2章 支部役員 略 (選任) 第4条 支部長、副支部長、支部監事は、運営委員会が支部に所属する正会員のうちから推薦し、支部総会において選任する。 2. 運営委員は、支部に所属する正会員のうちから支部長が委嘱する。 <u>3. 幹事長、副幹事長、幹事は、原則として、支部に所属する正会員のうちから支部長が委嘱する。</u></p>	<p>幹事（関東支部独自の役職）の役員人事に対して柔軟に対応するため</p>
<p>第6章 土砂災害緊急対応委員会 (構成) 第17条 土砂災害緊急調査細則に定める土砂災害緊急対応委員会は、支部長、幹事長、副幹事長、幹事をもって構成する。 2. 副委員長は幹事長とし、支部長が兼務する委員長を補佐する。</p>	<p>第6章 <u>災害調査</u> <u>(職務)</u> 第17条 <u>支部長は、支部区域で発生した災害に対して、調査チームを組織して、情報収集及び現地調査を行うことができる。</u> <u>2 支部長は、土砂災害緊急調査細則に定める土砂災害緊急対応委員会から要請があった場合は、調査団員の派遣等を行うものとする。</u></p>	<p>土砂災害緊急調査細則の変更により、土砂災害緊急対応委員会は、支部ではなく、本部に設置されることとなったため (支部が自発的、積極的に災害調査を行うことができることを明記)</p>
<p>付 則 1. 本運営内規は、平成24年10月1日から施行する。</p>	<p>付 則 1. 本運営内規は、平成24年10月1日から施行する。 <u>2. 本運営内規の変更(第4条、第17条)は、平成28年5月12日から施行する。</u></p>	

平成 28 年度事業計画・予算に関する報告

1. 平成 28 年度事業計画

- (1) 支部総会：平成 28 年 5 月 12 日
(東京大学工学部武田先端知ビル 武田先端知ホール)
- (2) 創立 10 周年記念シンポジウム：平成 27 年 5 月 12 日
(東京大学工学部武田先端知ビル 武田先端知ホール)
- ・テーマ：変わりゆく豪雨災害
 - ・意見交換会（東京大学山上会館）
- (3) 現地検討会
- ・平成 28 年 4～9 月 2～3 回程度
 - ①第 1 回現地検討会：平成 28 年 5 月 10 日
富士山の雪崩災害（山梨県富士吉田市、鳴沢村）
 - ②第 2 回現地検討会：検討中
- (4) 技術講習会ほか
- ・平成 28 年 9～12 月 斜面防災対策協会関東支部との共催（予定）
- (5) 運営委員会・幹事会等
- ①運営委員会
第 1 回平成 28 年 4 月 15 日 第 2 回平成 28 年 12 月
 - ②幹事会
第 1 回平成 28 年 4 月 15 日 第 2 回平成 28 年 9 月
第 3 回平成 28 年 6 月 第 4 回平成 28 年 12 月
第 5 回平成 28 年 3 月
 - ③斜面防災対策協会関東支部との定例会
平成 29 年 1 月

2. 平成 28 年度予算案

平成 28 年度予算は次のとおりである（理事会承認）。

表 4 平成 28 年度予算(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

				事業収支再掲		
				区分	収益	費用
収益	当期収益	事業収益	シンポジウム	180,000		
			意見交換会	200,000		
			現地検討会	160,000		
		受取利息	0			
		預り金	0			
	小計	540,000				
	資金移動(本部→支部)	300,000				
計	840,000					
費用	当期費用	事業費	シンポジウム	160,000		
			意見交換会	200,000		
			現地検討会	250,000		
			共催事業	90,000		
			災害調査	0		
		管理費	140,000			
	小計	840,000				
計	840,000					
当期収支差					0	

別表2 平成27年度予算(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

				予算	備考
【収益】					
勘定科目					
大科目	中科目	小科目	細目		
支部収益				540,000	
	事業収益			540,000	
		シンポジウム収益		380,000	
			参加費	180,000	¥2,000-×90名
			意見交換会費	200,000	¥5,000-×40名
		現地検討会収益		160,000	
			参加費	160,000	
			意見交換会費		
	受取利息			0	
	預り金				
本部仮払金				300,000	
当期収益合計(A1)				840,000	
内)未収入金(A2)					
【費用】					
勘定科目					
大科目	中科目	小科目	細目		
支部費用					
	事業費			700,000	
		シンポジウム会費		380,000	
			印刷製本費	100,000	
			会場費		
			会議費	200,000	意見交換会
			諸謝金	10,000	講師謝金
			旅費交通費	50,000	講師旅費
			通信運搬費		
			支払手数料		
			消耗品		
			備品		
			雑費		
		現地検討会費		250,000	
			印刷製本費	20,000	
			会場費		
			会議費		
			諸謝金	10,000	
			旅費交通費	200,000	
			旅費交通費一借料		
			通信運搬費	12,000	
			支払手数料		
			消耗品		
			備品		
			保険料	8,000	
			雑費		
		技術講習会費		90,000	斜面協会との共催事業費
			印刷製本費	40,000	
			会場費(会場使用料)	50,000	
			通信運搬費		
			保険料		
		諸会費			
	管理費			140,000	
		給与・手当			
			パート給与		
			アルバイト給与		
		会場費		88,000	
		会議費			
			支部総会費		
			幹事会・運営委員会費		
			技術委員会費		
		印刷製本費		10,000	
		旅費交通費			
		通信運搬費			
		消耗品	事務用品費	40,000	
		事務費	OA費、HP維持管理費		
		備品			
		外注費			
		支払手数料		2,000	
		公租公課	印紙代		
		雑費			
当期費用合計(B1)				840,000	
内)未払い金(B2)				0	
当期収支差額(C=A1-B1)				0	
前期繰越額(D)				1,571,131	
内)前期未払い金(E)				0	
次期繰越収支差額(D+C+B2-E)				1,571,131	

別表3 第2期(平成26-27年度)関東支部役員名簿

(平成28年4月15日現在)

区分	氏名	所属	学会関係	備考1	備考2	役割分担
支部長	落合博貴	一般社団法人日本森林技術協会	理事(副会長)			
副支部長	若井明彦	国立大学法人 群馬大学大学院 理工学府	理事(国際部長)	第1順位		
	山田正雄	情報防災技術株式会社	代議員	第2順位	退任予定	
監事	向井啓司	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター 斜面保全部	代議員			
	鈴木秀雄	群馬県 環境森林部森林保全課			H27/5より	
運営委員	天野一男		代議員			
	後藤 聡	国立大学法人 山梨大学 大学院 医学工学総合研究部	理事(副会長)			
	蔡 飛	国立大学法人 群馬大学 大学院 工学研究科	代議員			
	佐藤 剛	帝京平成大学 大学院 環境情報学研究科	代議員			
	井上敬資	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所		幹事兼務		
	久保 徹	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 砂防海岸課			H26/4より	
	武藤敏正	山梨県 県土整備部 砂防課		新任	H28/4より	
	山崎 勉	国土防災技術株式会社 技術本部	代議員			
	稲垣 裕	日本工営株式会社 中央研究所総合技術開発部				
	藤原民章	日本工営株式会社 国土保全事業部 防災部				
	小野田敏	アジア航測株式会社 コンサルタント事業部		幹事兼務		
	小林 豊	日本サーベイ株式会社		幹事兼務		
平木慎一	株式会社日さく 東日本支社 調査部		幹事兼務			
幹事長	櫻井正明	株式会社山地防災研究所	理事			総括
幹事	藤平 大	国立研究開発法人 土木研究所 土砂管理研究グループ			H27/4より	企画1
	井上敬資	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所	代議員			企画1
	酒井直樹	国立研究開発法人 防災科学技術研究所	代議員			広報2
	鈴木拓郎	国立研究開発法人 森林総合研究所		新任	H28/5より	
	剣持則之	群馬県 環境森林部 森林保全課		新任	H28/4より	広報2
	坂口勝利	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 砂防海岸課			H26/4より	広報2
	大久保憲治	山梨県 県土整備部 砂防課		新任	H28/4より	広報2
	小野田敏	アジア航測株式会社 コンサルタント事業部	代議員			広報1
	菅野孝美	川崎地質株式会社 事業本部				広報1
	小林 豊	日本サーベイ株式会社	代議員			会計
	齊藤雅志	国土防災技術株式会社 技術本部技術部			H27/4より	企画2
	岩間倫秀	日本工営(株) 国土保全事業部 防災部		新任	H28/4より	
	木村勝美	株式会社ダイヤコンサルタント 砂防・防災事業部	代議員			企画2
	平木慎一	株式会社日さく 東日本支社 調査部	代議員			総務2
	谷本彰	応用地質株式会社 東京支社			H27/6より	総務2
	滝口 潤	明治コンサルタント株式会社 東京支店防災課				総務1
	林 一成	奥山ボーリング株式会社	代議員	(H28/4転勤)		企画2
	運営委員退任	藤沢和範	国立研究開発法人 土木研究所		H27/12承認済	H27/4-H27/12
鈴木輝一		国立大学法人 埼玉大学 大学院 理工学研究科	代議員	H28/3退会	H18/4-H28/3	
保坂秀人		山梨県 県土整備部 砂防課	代議員	H28/3退任届	H26/4-H28/3	
幹事退任	樽角晃	応用地質株式会社		H27/5承認済	H26/4-H27/5	総務2
	浦 元啓	日本工営株式会社		H28/3退任届	H22/4-H28/3	副幹事長・総務1
	多胡正洋	群馬県 環境森林部 森林保全課		H28/3退任届	H27/4-H28/3	広報2
	櫻田 学	山梨県 県土整備部 砂防課		H28/3退任届	H25/4-H28/3	広報2

- 1) 総会時に、第3期の支部長・副支部長・監事が選任される。
- 2) 総会後に、第3期の運営委員・幹事が委嘱される予定である。

総務1：幹事会・運営委員会運営

総務2：総会等運営

会計：会計処理

広報1：会員向け広報活動（ニューズレター発行・学会誌対応）、Web管理

広報2：対外広報・関係機関調整

企画1：シンポジウム

企画2：現地検討会・講習会

公益社団法人日本地すべり学会 関東支部運営内規

第1章 総則

(目的)

第1条 この内規は、公益社団法人日本地すべり学会関東支部の運営を円滑に進めることを目的として定める。

2. 関東支部の運営は、公益社団法人日本地すべり学会定款、公益社団法人日本地すべり学会規則(以下「学会規則」という)、支部運営細則、土砂災害緊急調査細則、研究発表会実施細則及びこの運営内規に基づいて実施する。

第2章 支部役員

(支部役員)

第2条 関東支部に、学会規則の定める支部長、副支部長、支部監事のほか、運営委員、幹事長、副幹事長、幹事を置く(以下「役員」という)。

2. 役員の設定は下記のとおりとする。

支部長	1名
副支部長	1～2名
支部監事	2名
運営委員	5～20名
幹事長	1名
副幹事長	1～2名
幹事	5～20名

3. 副支部長を2名置く場合は、代行順位を付けるものとする。第1順位の副支部長は、支部長に事故あるときにその職務を代行する。

(職務・報酬)

第3条 運営委員は、支部の運営を協議する。

2. 幹事は支部の運営に関する実務を行い、幹事長はこれを総括する。副幹事長は幹事長を補佐する。

3. 役員は、無給とする。

(選任)

第4条 支部長、副支部長、支部監事は、運営委員会が支部に所属する正会員のうちから推薦し、支部総会において選任する。

2. 運営委員、幹事長、副幹事長、幹事は、支部に所属する正会員のうちから支部長が委嘱する。

(任期)

第5条 役員は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2. 支部長、副支部長、監事の任期の始期は、総会において選任された時とし、次期役員が総会において選任された時までとする。

3. 運営委員、幹事長、副幹事長、幹事の任期の始期は、支部長が委嘱した時とし、次期役員が委嘱される時までとする。

4. 役員が欠員となったときには、役員を選任することができるが、任期の終期は、欠けた役員の任期の終期と同じとする。

(解任)

第6条 役員が、次のいずれかに該当するに至ったときには、総会の決議によって解任することができる。

(1) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えられないとき。

(2) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき

第3章 支部総会

(構成・議長)

第7条 支部総会は、支部に所属する正会員をもって構成する。

2. 支部総会の議長は、支部総会において、支部に所属する正会員(役員を除く)の中から選出する。

(決議事項)

第8条 支部総会は、支部に関する次の事項を決議する。

(1) 運営内規の変更、廃止

(2) 事業報告及び決算

(3) 会計および業務執行に関する支部監事の報告

(4) 支部長、副支部長、支部監事の選任又は解任

(5) 幹事長、副幹事長、運営委員、幹事の解任

(6) その他、支部総会で審議することが決議された事項

(定足数・議決)

第9条 総会は、支部に所属する正会員の1/5以上の出席がなければ開催することができない。

2. 総会の議事は、出席した正会員の過半数を持って決し、可否同数の時は、議長の決するところによる。

3. 総会に出席できない正会員が、書面をもってあらかじめ意思を表示した場合は、総会の定足数及び議決数に算入する。

4. 支部総会の議事については、議事録を作成しなければならない。

5. 支部長は、支部監事から、その事由を付した文書により支部総会の開催を請求された場合は、速やかに支部総会の招集をおこなわなければならない。

第4章 運営委員会

(構成・招集・議長)

第10条 運営委員会は、支部長、副支部長、支部監事、運営委員のほか、幹事長、副幹事長をもって構成する。

2.運営委員会の会議は、支部長が招集する。また、会議の議長は、支部長または副支部長がこれにあたる。

(決議事項)

第11条 運営委員会は、支部に関する次の事項を決議する。

- (1) 支部総会に付議するべき事項
- (2) 支部総会の決議事項の執行に関する事項
- (3) 事業計画及び予算
- (4) 支部長、副支部長、支部監事の推薦
- (5) その他運営に関する事項

(議決)

第12条 運営委員会の議事は、決議について特別の利害関係を有する者を除く出席した運営委員会の構成員の過半数をもって決する。

2.運営委員会の議事については、議事録を作成しなければならない。

3.運営委員会は、支部運営細則第6条第3項および第4項に規定する会議を兼ねるものとする。

第5章 幹事会

(構成)

第13条 幹事会は、幹事長、副幹事長、幹事をもって構成する。

2.支部運営を円滑に行うため、幹事長の下に総務、会計、広報、企画の担当を置く。

(役割)

第14条 幹事会は、支部長の指揮を受けて、次の事項を実施する。

- (1) 総会、運営委員会の決議事項に関する事項
- (2) 支部長の指示した事項
- (3) その他運営に関する事項

(会議)

第15条 会議は、幹事長が招集し、必要に応じて、支部長または副支部長の参加を求めることができる。また、支部監事は、必要に応じて、会議を傍聴することができる。

2. 会議の議長は、幹事長または副幹事長がこれにあたる。

3. 幹事長は、会議の内容について、支部長に報告しなければならない。

(事務局)

第16条 幹事会の事務を効率的に処理するために、事務局を設置することができる。

2.事務局の設置及び運営に関する事項については、支部長が定める。

第6章 土砂災害緊急対応委員会

(構成)

第17条 土砂災害緊急調査細則に定める土砂災害緊急対応委員会は、支部長、幹事長、副幹事長、幹事をもって構成する。

2.副委員長は幹事長とし、支部長が兼務する委員長を補佐する。

第7章 研究発表会実行委員会

(設置)

第18条 支部長は、研究発表会実施細則第4条に定められた研究発表会開催の要請をうけ、実施を委任された場合は、研究発表会実行委員会を設置する。

2.研究発表会実行委員会の設置のための準備、設置されるまでの間の対応は、幹事会が行うものとする。

第8章 文書管理

(文書番号)

第19条 支部の運営上発信が必要な文書で、支部の公印を押捺した文書は、文書番号を付すものとする。

(文書の保管)

第20条 文書番号を付した文書は、発信した文書の控えを事務局が保管する。

2.文書番号を付した文書の保管期間は、原則として発信後2年間とするが、必要な場合は保管期間を延長することができる。

第9章 会計処理

(金銭の出納)

第21条 支部における金銭の出納および保管は、会計担当の幹事が行うものとする。

2.支部が管理する預金の出納に使用する印鑑は、支部長の職名を刻した印とし、会計担当の幹事が保管し押印する。

(監査)

第22条 支部監事は、決算時および必要と認められる場合は、支部の会計について監査を行い、文書により支部総会に報告しなければならない。

付 則

1. 本運営内規は、平成24年10月1日から施行する。

感謝状の贈呈について

関東支部

感謝状贈呈は、関東支部の活動へ貢献していただいた方に、関東支部として感謝の気持ちを表わすものです。

期日	氏名	事由
平成 27 年 6 月 1 日	故今野幸喜殿	今野氏は、病気療養のために、平成 26 年度末をもって幹事を退任されましたが、平成 21 年度より、会計、Web 管理の担当幹事及び平成 26 年度研究発表会幹事を務められ（国土防災技術）、関東支部の振興に貢献されたと認められますので、幹事会として感謝状贈呈の対象者として推薦いたします。 (平成 27 年 6 月 1 日 幹事会承認)
平成 28 年 5 月 12 日	浦元啓殿	浦氏は、転勤のために平成 27 年度末をもって幹事を退任されましたが、平成 22 年度より、総務担当の幹事及び副幹事長を務められ（日本工営）、関東支部の振興に貢献されたと認められますので、幹事会として感謝状贈呈の対象者として推薦します。(平成 28 年 4 月 15 日 運営委員会・幹事会承認)
平成 28 年 5 月 12 日	鵜飼恵三殿	鵜飼氏は、関東支部の設立にご尽力されるとともに、平成 18 年 4 月設立後は、平成 21 年度まで 2 期にわたって関東支部長を務められ（群馬大学）、関東支部の発展に多大な功績があったと認められますので、運営委員会及び幹事会として、創立十周年を記念した感謝状贈呈の対象者として推薦します。 (平成 28 年 4 月 15 日 運営委員会・幹事会承認)

【参考】 功労者に対する感謝状の贈呈について

平成 27 年 6 月 1 日
平成 28 年 4 月 15 日一部改正
関東支部

1. 関東支部長は、支部の発展に顕著な功績があった者、長年継続して役員活動を行い関東支部の振興に寄与した者に対して、感謝状を贈呈することができる。
2. 感謝状贈呈の基準は、原則として次のとおりとする。
 - (1) 支部役員として、関東支部の発展に顕著な功績があったと認められる者で、運営委員会及び幹事会の推薦を受けた者
 - (2) 支部役員として、5年以上、積極的かつ継続的な役員活動を行い、関東支部の振興に寄与したと認められる者で、幹事会の推薦を受けた者
 - (3) 関東支部の発展に多大な功績があり、支部長が特に必要と認めた者
3. 贈呈時期は、支部役員については、退任後とする。
4. 感謝状の贈呈は、原則として、支部の行事等に合わせて実施する。なお、必要と認められる場合は、郵送等によることができる。
5. 原則として、記念品等の贈呈は行わない。
6. 感謝状の贈呈は、平成 27 年 6 月 1 日から実施する。

(平成 27 年 6 月 1 日 幹事会承認)

支部会員の皆さまへのお知らせ

関東支部からの行事等の連絡は、主として、①学会メーリングリスト、②関東支部 Web ページを通じて行います。

学会メーリングリストにぜひ登録してください。

●学会メール配信サービス

学会メーリングリスト (jisuberi) への登録等は、学会 Web ページを参照してください。

学会 Web ページ→会員→自由参加のメーリングリスト：

https://japan.landslide-soc.org/join_index/maillinglist_index.html

●関東支部 Web ページ

学会 Web ページから、「関東支部」をクリックしても入ることができます。

<https://japan.landslide-soc.org/kanto.html>

会場地図（東京大学本郷キャンパス）

■武田先端知ホール（総会及びシンポジウム）

東京都文京区弥生 2-11-16 東京大学工学部武田先端知ビル5階

地下鉄南北線「東大前」駅下車 徒歩 8分、千代田線「根津」駅下車 徒歩 5分

■山上会館（意見交換会）



1) 支部総会

期日：平成28年5月12日（木） 11:00-12:00（受付開始 10:45）

場所：東京大学工学部武田先端知ビル5階・武田先端知ホール（東京都）

2) 創立十周年記念シンポジウム

期日：平成28年5月12日（木） 12:45-17:00（受付開始 12:15）

場所：東京大学工学部武田先端知ビル5階・武田先端知ホール（東京都）

参加費：支部会員・一般2,000円（学生会員1,000円）

3) 意見交換会

期日：平成28年5月12日（木） 17:45-19:45

場所：東京大学山上会館1階・談話ホール（東京都）

参加費：学会員 5,000円